

商品のご案内



つち博士は、土壌分析から解析・評価までを、全てご自分で
行なうことができます。又、新型つち博士 (M2)は腐植率の
測定を行うことで、CEC・全窒素などが求められます。

土壌分析機 つち博士 (M2) 本体基本キット販売価格 390,000円 (税抜き)



分析器本体 施肥管理システム コードキット 透明カートリッジキット
養分試薬&腐植試薬(各5検体分) 攪拌キット ポケットスケール
分注器 ろ紙 など

土壌養分の定点分析により養分の傾向が把握でき、投入肥料の
施肥状況の検証が可能です。

簡便・低コストのため、1枚の圃場の複数個所の測定ができます。
栽培管理技術ノウハウの蓄積に、是非ご活用ください。



この商品は農水省の補助事業に対応しています。この補助金制度を利用して、購入できる
場合があります。詳しくは、お問い合わせください。

合同会社
土づくり推進機構
〒群馬県前橋市箱田町139-4
<http://tuchi.net/>



つち博士 検索

TEL 027-353-3838
FAX 027-329-5290
organicms@ybb.ne.jp

日本初!

腐植率を測定 簡易型デジタル 土壌分析器セット

つち博士
M2

本製品は群馬県立群馬産業技術センターとの
共同研究によって開発しました。

特許出願中



「簡易型」なのに 腐植率の測定も可能

腐植は、土壌の物理性、化学性、生物性を良好にするための重要な物質です。これを把握することで、土壌の保水力、土壌の養分保持能力、有機態窒素の供給など、土壌の肥沃さの指標とすることができます。

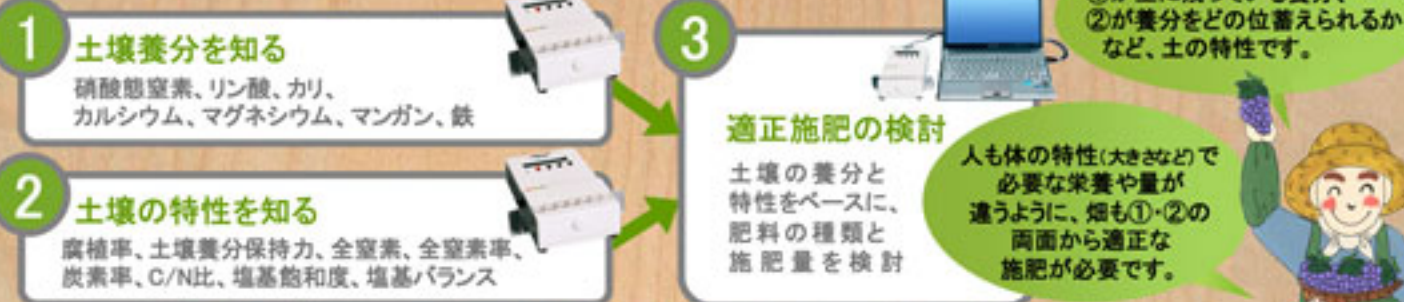
腐植値をもとに より精度が高い 養分保持力(CEC)の 算出を実現(当社比)

CECは、土壌が養分を蓄えておける養分保持力の大きさを表します。栽培土壌に含まれる粘土鉱物の種類や量、腐植の量によって左右されます。

施肥設計は 使いたい資材で 投入量の評価が可能

「自分で資材や投入量を検討できる施肥設計ソフト」を添付。分析結果をもとに塩基成分バランスなど土壌の特性を考慮して畑に必要な成分の目安を提示するため、画一的ではなく、畑1枚1枚に最適な施肥のシミュレーションができます。

■ 土壌分析の流れ



簡単

わずらわしい試薬の計量は一切なし
(計量は土の計量等2回のみ)

早い

1検体あたり
約10~15分で分析
(10検体分析の場合)

安い

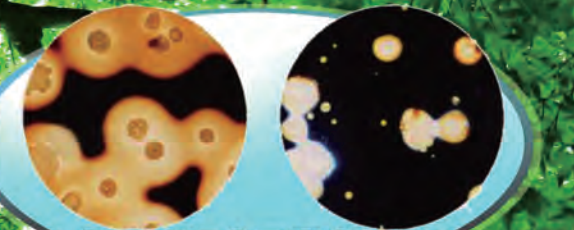
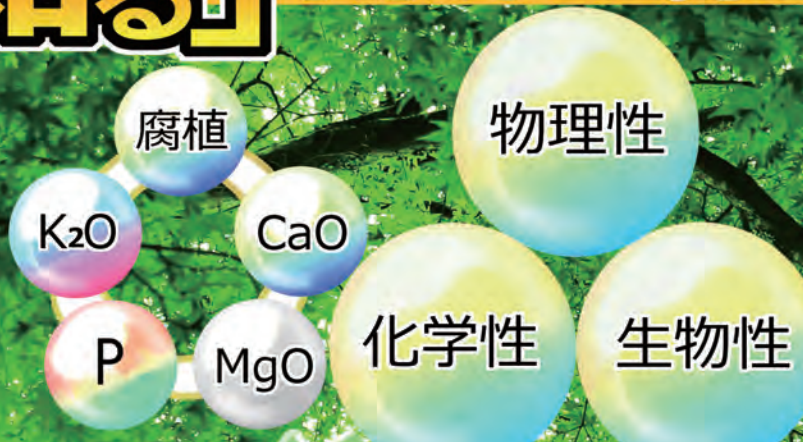
試薬代は **853円** と
低価格 (税抜き)
(全20項目を測定・算出)

測定および算出項目 (土壌分析)

測定項目			算出項目		
No	項目名	単位	No	項目名	単位
1	硝酸態窒素(NO ₃ -N)	mg/100g	1	CEC	me/100g
2	可給態リン酸(P ₂ O ₅)	mg/100g	2	全窒素率	%
3	交換性カリウム(K ₂ O)	mg/100g	3	10a当たりの全窒素推定量	ton
4	交換性カルシウム(CaO)	mg/100g	4	炭素率	%
5	交換性マグネシウム(MgO)	mg/100g	5	C/N比	—
6	交換性マンガン(Mn)	ppm	6	塩基飽和度	%
7	可給態鉄(Fe ₂ O ₃)	ppm	7	塩基バランス(カルシウム)	Kg/10a
8	腐植率	%	8	塩基バランス(マグネシウム)	Kg/10a
			9	塩基バランス(カリウム)	Kg/10a
			10	塩基比(カルシウム/マグネシウム)	—
			11	塩基比(マグネシウム/カリウム)	—
			12	塩基比(カルシウム/カリウム)	—

「土を知る」 仕組みづくりの提案

合同会社 土づくり推進機構
 〒371-0837
 群馬県前橋市箱田町139-4
TEL 027-353-3838
FAX 027-329-5290
 ✉ organicms@ybb.ne.jp
 URL <http://tuchi.net>



微生物による炭水化物・
 蛋白の分解能力評価
 (評価試験受託中)

本製品は群馬県立群馬産業技術センターとの
 共同研究によって開発しました。

つち博士 検索

画面例

メニュー画面

「つち博士」施肥管理システム V1.01

土壌分析結果一覧 | 土壌分析結果の取り込み | 施肥設計を行う

下記データベース(DB)の準備が完了していますか?
 分析結果の取込みは可能ですが、DBの情報が入力されていないと施肥設計は、できませんので、DBの確認を行ってから施肥設計をお願いします。

圃場登録・変更 | 資材コスト登録・変更 | 資材登録・変更 | 作付登録・変更
 構成員登録・変更 | 基準値登録・変更 | 構成員と対象栽培作物リスト | データインポート

合同会社 土づくり推進機構

データ取込み画面

つち博士 土壌分析結果

項目	測定値	単位	基準の目安	コメント欄
EC	0.3		0.5~4.0	
pH	6.3		5.5~6.5	
1 陽イオン交換容量	12	cmol/kg	10~20	
2 陽イオン交換容量	1.3	mg/kg	100	
3 可溶性リン	1	mg/kg	20~30	
4 可溶性リン	50	mg/100g	50~60	
5 交換性カルシウム	340	mg/100g	100~150	
6 交換性マグネシウム	30	mg/100g	30~40	
7 交換性マンガン	1	mg/kg		
8 有機質	2.3	%		
9 CEC	9.4	cmol/kg		
10 全窒素	0.13	%		
11 全リン	1.3	mg/kg		
12 陽イオン交換容量	1.3	mg/kg		

施肥設計画面

施肥設計

項目	pH	EC	NO ₃ -N	P ₂ O ₅	K ₂ O	CaO	MgO	有機質	CEC	全窒素	陽イオン交換容量
土壌分析結果	6.3	0.3	1.3	30	40	340	30	2.3	9.4	1.3	61
土壌分析結果	6.0~6.5	0.3以下	20~60	20	200	30	—	—	—	—	115
基準値(標準)	5.5	0.1	10	50	100	—	—	—	—	—	61

資材リスト(使用資材の選定)

お見積りいたします

グループの人数や圃場数を参考に、備品や試薬のご注文を見積もりいたします。
別紙のお見積り申込書を、FAXでお送りください。
また、インターネット (<http://tuchi.net/>) からもお申込みできます。



つち博士本体 基本キット

分析器本体
施肥管理システム
試薬(養分,腐植各5検体分)
透明カートリッジキット
攪拌キット
ポケットスケール
分注器 など



A
セ
ツ
ト

(20検体位まで)
透明カートリッジキット 3
攪拌キット 3
分注器 1
ろ紙キット(2箱) 1

A, Bどちらかを選んでください。

B
セ
ツ
ト

(30検体位まで)
透明カートリッジキット 5
攪拌キット 5
分注器 1
ポケットスケール 1
ろ紙キット(2箱) 1

※ 検体数は同時に分析する時の目安です。



オプション

- ・養分用試薬
- ・腐植用試薬
- ・pH計
- ・EC計
- ・土壌分析講習会

※価格は全て税込

お申込み

見積り

農水省へ申請

「つち博士」
お支払い・納品

農水省へ
報告

補助金交付

※ 上記商品はすべて、補助率50%です。



合同会社
土づくり推進機構
<http://tuchi.net/>

つち博士 検索



お申込みは専用見積書で
FAX 027-329-5290